

# コマンド入力で外付け回路を動かしてみる

桑野 雅彦

Raspberry PiでGPIOアクセスを例にしてプログラムを作成し、実行する方法を解説します。Raspberry Pi用LinuxであるRaspbianの場合は、最初からC/C++コンパイラなどのさまざまな言語処理系が用意されています。コンパイラはOSそのもののほか、さまざまなツール類のソース・コードをコンパイルするのにも利用されています。

今回はRaspberry PiのLinuxを生かすべく、次の四つの方法でGPIOアクセスを行ってみます(図1)。

## (1) シェルから動作確認

特別なプログラミングが必要ないシェルからのアクセスで、簡単に配線チェックを行います。

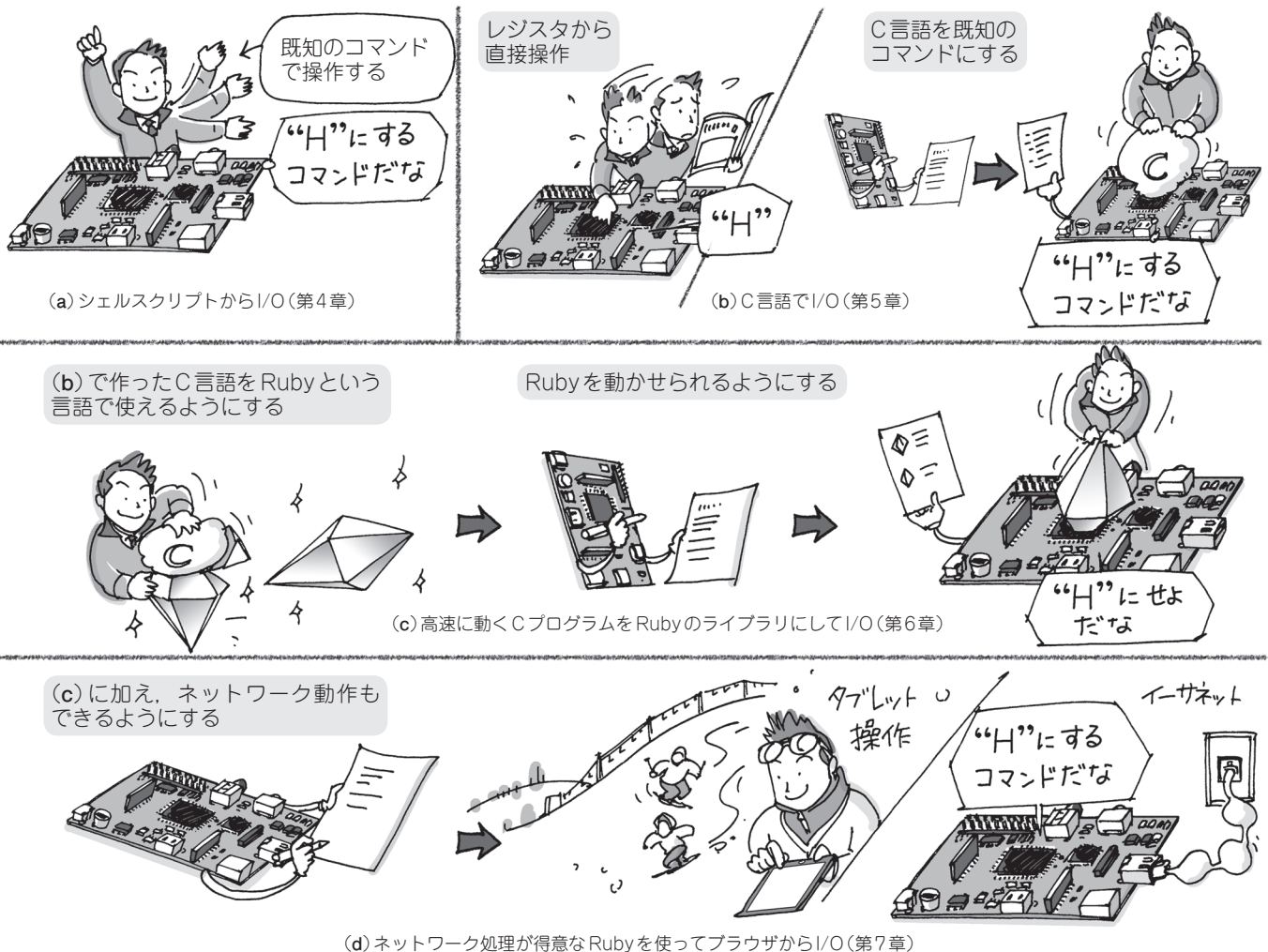


図1 第4章～第7章ではいろいろな方法でGPIOアクセスを行ってみる